

富山県ベトナム経済訪問団の派遣結果について

1 日 程 2022年12月18日(日)から23日(金)

2 参加者 41名(現地参加者3名、富山タイ協会7名(一部同行)を含む)
別紙のとおり

3 成 果

富山県とベトナムは、2016年に、ベトナム計画投資省との間で経済交流に関する覚書(MOU)を締結して以降、投資セミナーや商談会の開催など、経済活性化に向けた取組みを実施してきた。現在、県内企業のベトナムへの進出数は、37社53事業所に達し、両地域の経済交流はますます活発となっている。

一方で、近年、世界経済における課題は多様化しており、県内企業においても、サプライチェーン、進出先・販売先の見直し等が求められている。

そのようななか、新型コロナの影響下でもプラス成長を維持するなど、安定した経済成長を続けているベトナムへの新たな進出や事業展開を検討している企業は多く、今回の訪問では、ベトナムとのビジネスに関心のある県内企業約20社に参加いただき、現地政府機関や現地進出企業との意見交換、ベトナム企業との交流などを行った。

具体的な成果としては、

- (1) 計画投資省ズン大臣とお会いし、今後の経済交流について直接意見交換できたこと
- (2) 計画投資省ゴック副大臣と、強化版MOUを締結し、富山デスクの設置を含め、今後の経済交流について双方で取り組んでいく合意ができたこと
- (3) 今回、現地でオープニングセレモニーを実施した県ホーチミンビジネスサポートデスク、今後設置する富山デスクを通じ、ベトナム進出を検討する事業者への相談体制が構築されたこと
- (4) ハノイ近郊の地方省4省、ホーチミン近郊のビンズオン省など、地方省への理解が深まったこと。現地進出企業を視察し、進出先の決定、人材の確保などについて具体的なお話をうかがえたこと
- (5) 在ベトナム大使館、JETRO ハノイ(ホーチミン)等公的機関、現地進出企業と参加企業とのネットワークが構築できたこと
- (6) 富山就職プログラム4期生(今後、富山県内の企業に就職する現地大学生)等への激励及びその関係者と今後の人材育成について意見交換できたこと

などがあげられる。

引き続き、経済成長著しいベトナムとの経済交流、ビジネス交流の拡大に向けた関係を強化し、本県経済の活性化につなげていく。



富山県ベトナム経済訪問団の活動日程

日 程	行 事	場 所 等
12月18日(日)	① 経済訪問団出発式 ・富山きときと空港→羽田空港 ・羽田空港→成田空港 ・成田空港→ハノイ	富山きときと空港 ※雪のため1時間程度遅れて出発
12月19日(月)	② ジェトロハノイとの意見交換会 ③ 在ベトナム大使館との昼食・懇談会 ④ ベトナム計画投資省ズン大臣との会談 ⑤ ベトナム計画投資省と富山県経済訪問団との対話 ・富山県の紹介 ・地方省投資環境紹介 ・ゴック副大臣と MOU 締結 ・「富山デスク」プレート贈呈 ⑥ 政府関係者等との情報交換会	ジェトロハノイ 在ベトナム大使館 ベトナム計画投資省 同 上 ホテルデュパルクハノイ
12月20日(火)	⑦ -1 YKKベトナム社ハナム工場視察 -2 ベトナム現地商業施設等視察 ⑧ 麺家いろは 視察・昼食会 ⑨ 富山県企業とベトナム企業のネットワークワーキング及び商談会	ハナム省 ハノイ市内 同 上 ホテルデュパルクハノイ
12月21日(水)	ハノイ→ホーチミン ⑩ 富山県ホーチミンビジネスサポートデスクオープニングセレモニー及びサポートデスク視察 ⑪ 現地進出企業等との情報交換会	ホテルニッコーサイゴン ホーチミン市内 ホテルニッコーサイゴン
12月22日(木)	⑫ ファインネクスベトナム社工場視察 ⑬ -1 ビンズオン省表敬訪問及びビンズオン新都市視察 -2 ベトナム現地商業施設等視察 ⑭ 富山就職プログラム4期生への激励会 ハノイ→羽田空港	ビンズオン省 同 上 ホーチミン市内 ホテルニッコーサイゴン
12月23日(金)	羽田空港→東京駅→富山駅	※欠航(雪)のため振替

富山県ベトナム経済訪問団名簿

(敬称略)

団 長	新田 八朗	富山知事
顧問	渡辺 守人	富山県議会議長
【経済訪問団】		
団 員	石橋 隆二	株式会社石橋 代表取締役
	中村 秀行	大澤工業株式会社 代表取締役
	大橋 聡司	大高建設株式会社 代表取締役社長
	高田 俊一	タカタ精密工業株式会社 代表取締役社長
	高野 吉寿	タカノギケン株式会社 代表取締役社長
	武内 優和	武内プレス工業株式会社 取締役管理本部企画管理室長
	高木 亮太	T S K株式会社 代表取締役社長
	栗原 清	株式会社天高く 代表取締役会長兼社長
	曾根 豊	株式会社富冷 代表取締役社長
	高田 浩	バイホロン株式会社 代表取締役
	浅野 雅史	株式会社バロン 代表取締役
	細川 英明	伏木海陸運送株式会社 常務取締役営業本部副本部長
	堀井 鉄也	堀井鉄工株式会社 代表取締役社長
	山本 和代子	山元醸造株式会社 代表取締役
	松村 光祥	有限会社山文 取締役社長
	横山 栄一郎	横山冷菓株式会社 代表取締役社長
	鎌田 慶昭	公益財団法人富山県新世紀産業機構 アジア経済交流センター長
	村上 久	ジェトロ富山 所長
	森岡 泰臣	ジェトロ富山 係長
＜現地参加団員＞		
	山田 太一	株式会社北陸銀行 ホーチミン駐在員事務所長
	蛇見 拓斗	ジェトロハノイ事務所 エキスパート
	木村 華奈子	クレアシンガポール事務所 所長補佐
＜富山タイ協会派遣団員(ホーチミンで合流)＞		
	塩井 保彦	株式会社広貫堂 取締役会長
	麦野 英順	株式会社北陸銀行 特別顧問
	清水 善門	株式会社北陸銀行 国際部長
	稲田 裕彦	救急薬品工業株式会社 代表取締役社長
	加賀田 松征	北陸電気工業株式会社 執行役員営業マーケティング本部長
	市森 友明	株式会社新日本コンサルタント 代表取締役社長
	山瀬 孝	株式会社ジェック経営コンサルタント 代表取締役社長
報 道	小幡 雄也	北日本新聞社 政経部記者
	森 康平	富山新聞社 政治部記者
秘書長	中谷 仁	富山県商工労働部長
随 員	吉澤 泰樹	富山県商工労働部立地通商課長
	中川 千映	富山県商工労働部立地通商課物流通商班長
	上田 弘大	富山県商工労働部立地通商課物流通商班主事
	大西 哲憲	富山県商工労働部労働政策課雇用推進班長
	宮本 貴正	富山県商工労働部労働政策課雇用推進班主任(ホーチミンのみ)
	鎌仲 裕児	富山県経営管理部秘書課副主幹・秘書第一係長
	グエン・ティ・タオ	富山県生活環境文化部国際課国際交流員

12月18日(日)

(1) 出発式

- ア 日 時 2022年12月18日(日) 10:30~10:50
イ 場 所 富山空港 国内線ビル2階有料待合室A B
ウ 出席者 経済訪問団(新田知事、渡辺議長等)25名
見送り 蔵堀副知事
エ 内 容 挨拶(新田知事)、団員紹介(事務局)

○団長の新田知事から、これまでのベトナムとの経済交流の経緯のほか、ベトナムに進出している県内企業や安定した経済成長を続けているベトナムへの進出を検討している企業が多いことが紹介された。現地では政府関係機関及び現地進出企業等との意見交換やマッチング、商談会等を通じ、両国の経済の絆をより深くするとともに、ベトナムの勢いを富山に取り込みたいとの挨拶があった。



12月19日(月)

(1) ジェトロハノイ事務所との意見交換会

- ア 日 時 2022年12月19日(月) 9:20~10:20
イ 場 所 ジェトロハノイ事務所 CornerStone Building 9階
ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長等)30名
エ 相手方 中島 丈雄 ジェトロハノイ事務所所長
オ 内 容 (1)挨拶(新田知事)
(2)ベトナムの経済情勢に係るブリーフィング
(中島ジェトロハノイ事務所所長)

- 中島所長によるベトナムの経済情勢に係るブリーフィングでは、まず、日本とベトナムは来年外交関係樹立50周年を迎え、両国間で様々な交流が期待されているとの発言があった。
- さらに、日本企業のベトナムでの事業拡大意欲はアセアンで1位であることや近年の大型投資の状況、日本が人気の就職先であること(本人のスキルアップや家族の安心)、日本としても、その点をアピールすべきことなど、現地で勤務されている経験に基づき具体的な説明があった。
- 質疑応答では、ベトナムの原材料高に対して、5年前から商品の値上げをせず頑張っているという意見に対し、ベトナムは、国が生活品価格の上昇を抑えており、値上げがしにくい国というコメントがあった。
- また、今後の投資対象地域についての質問に対し、世界各国からの進出が進んでおり、高速道路の整備等があることから、従来よりも広域での検討が必要になっているとのコメントがあった。



(2) 在ベトナム日本大使館・山田大使との昼食・懇談会

- ア 日 時 2022年12月19日(月) 11:15~12:45
イ 場 所 在ベトナム日本大使館 大使公邸
ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長ほか) 29名
エ 相手方 山田 滝雄 特命全権大使
渡邊 滋 次席公使 ほか5名
オ 内 容 (1)挨拶(新田知事)
(2)ベトナム全般に係るブリーフィング(山田大使)
(3)昼食をとりながら意見交換

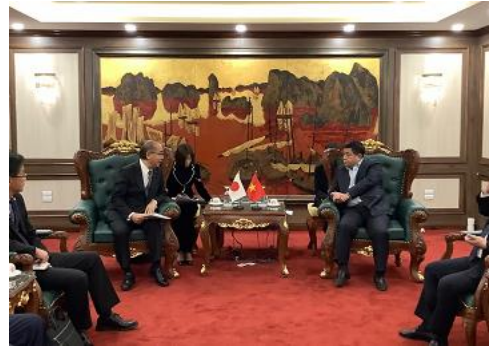
- 山田大使から、ベトナムの概況について、①日本企業にとって、重要な生産拠点であり有望な市場であること、貿易額は拡大しており、GDPの伸びも高水準で推移していること、物価が上昇しているが欧米よりは安定していること、JETROの調査によると、ベトナム既進出企業の今後の事業展開について「拡大」と回答した企業の割合が6割であることなどが紹介された。②技能実習生等人材については、円安やベトナムでの就業機会が増加していること、国内外での人権意識の高まりから、トレンドが変化してきており、今後の就業先国の人数を注視しているとの説明があった。サプライチェーンや投資先としての魅力、質の高い労働者(理系、エンジニア)が多いことから、引き続き、ベトナムの重要性は高く、コロナ禍で留学生は減少しているが、教育・文化を通じた交流も大切であるとの発言があった。
- 質疑応答では、同じ共産党体制の中国との違いについての質問があり、ベトナムは、中国と米国間のバランスの中で、企業の声を大事にするとともに、国内の伝統的なコミュニティを大切にしていること、また、恵まれた資源を上手く分配することが重視されていると説明があった。

(3) ベトナム計画投資省ズン大臣との会談

- ア 日 時 2022年12月19日(月) 13:35~13:50
イ 場 所 ベトナム計画投資省 貴賓室
ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長等) 10名
エ 相手方 グエン・チー・ズン大臣
フンイエン省、ゲアン省、タインホア省、ハナム省同席
オ 内 容 (1)挨拶(ズン大臣、新田知事)
(2)意見交換

- 新田知事とベトナム計画投資省ズン大臣との会談では、冒頭、新田知事から、①ズン大臣とは昨年11月(東京)以来、再びお会いできて嬉しく思っていること、②2016年に締結したMOUに基づき交流を重ね、37社53事業所がベトナムに進出していること、アンケートでもベトナムへの進出を検討している企業が一番多かったことから、今回4回目となる訪問団を組織したこと、③サプライチェーン見直しのなかで、政治的に安定しているベトナムが選ばれており、今後、引き続き支援をお願いしたいこと、④MOUをさらに充実し、富山県企業の進出をスムーズにするために、富山デスクを計画投資省内に設置したいと考えており、これを契機に、ベトナム計画投資省と富山県との協力関係が一層深まり、経済交流が活発になるよう、協力をお願いしたいなどの挨拶があった。

○ズン大臣からは、①世界情勢が非常に複雑になっている今、ベトナムと日本が協力関係を強化していく必要がある、②本日の約 20 社の訪問をきっかけに経済活動、経済交流を強化していきたい、③富山デスクの設置について感謝する、④ベトナムと日本、特に富山県との関係に協力いただいた関係企業をはじめ、新田知事に、心からお礼を申し上げる。また、今回の覚書によってベトナムと富山県との協力関係がさらに発展することを期待する、などの発言があった。



(4) ベトナム計画投資省と富山県経済訪問団との対話

ア 日 時 2022 年 12 月 19 日 (月) 14 : 00 ~ 15 : 40

イ 場 所 ベトナム計画投資省 1 階ホール

ウ 富山県側 経済訪問団 (新田知事、渡辺議長等) 32 名

エ 相手方 グエン・ティ・ビック・ゴック副大臣

ドー・ニャット・ホアン計画投資省外国投資長官

地方省 (フンイエン省、ゲアン省、タインホア省、ハナム省) 同席

オ 内 容 (1) 挨拶 (ゴック副大臣、新田知事)

(2) ベトナムの投資環境紹介 (ホアン長官)

(3) 富山県の紹介 (吉澤立地通商課長)

(4) 地方省投資環境紹介 (上記 4 省)

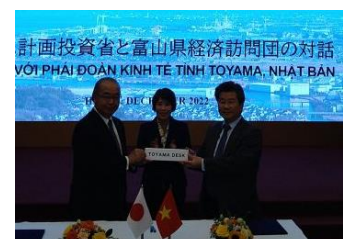
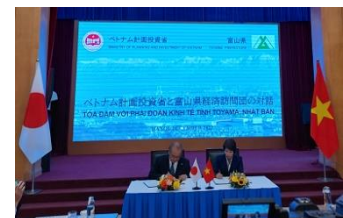
(5) MOU 締結式 (ゴック副大臣、新田知事)、「富山デスク」プレート贈呈

(6) 記念撮影

○ゴック副大臣から、富山県とはこれまでも良いパートナーであり、今後もその関係を強化していきたい、富山県企業をはじめ日系企業がベトナムに進出しやすい環境づくりをしていきたいとの挨拶があった。新田知事からは、①ズン大臣との会談で相互に更なる経済交流の促進に協力する旨合意したこと、②2016 年の MOU 締結以降、富山ベトナム間の経済交流が活性化し、現在は県内企業のベトナムへの進出数が 37 社 53 事業所に達したこと、③本日、その MOU を強化し、今後のベトナムとのさらなる経済交流促進につなげたいこと、④今回の対話を通して、相互に理解を深めたいこと、などの挨拶があった。

○次に、ホアン長官から「ベトナムにおけるビジネスポテンシャルと投資の機会」と題し、ベトナムの投資環境について説明があった後、吉澤立地通商課長が富山県紹介のプレゼンを行った。その後、ハノイ近郊の地方省 (フンイエン省、ゲアン省、タインホア省、ハナム省) から各省の特徴や取組みについて説明・紹介があった。

○強化版 MOU の締結式では、新田知事、ゴック副大臣が覚書に署名、あわせて、新田知事からゴック副大臣、ホアン長官に、富山デスクのプレートが渡された。



(上)MOU に署名 (下)プレートの贈呈

(5) ベトナム進出県内企業、政府関係者との情報交換会

- ア 日時 2022年12月19日(月) 18:00~20:00
- イ 場所 ホテルデュパルクハノイ ジョーヌA
- ウ 富山県側 経済訪問団32名、現地進出企業6名
- エ 相手方 計画投資省 ドー・ニャット・ホアン 計画投資省外国投資長官
地方省 (タインホア省、ゲアン省、フンイエン省、ハナム省)
在ベトナム日本大使館 渡邊 滋 次席公使 他1名
ジェトロハノイ事務所 中島 丈雄 所長
JICAハノイ事務所 西川 直孝 アドバイザー
- オ 内容 (1)挨拶(新田知事)
(2)在ベトナム日本国大使館挨拶及び乾杯(渡邊次席公使)
(3)ベトナム計画投資省挨拶(ホアン長官)
(4)企業紹介、情報交換
(5)閉会挨拶(渡辺議長)

- 新田知事から、強化版MOUへ署名したことが報告され、ベトナムと富山県の経済交流がさらに発展し、成果につながることを期待しているとの挨拶があった。その後、渡邊次席公使から、計画投資省とのMOU締結及び意見交換は非常に有意義であり、来年は、日越国交樹立50周年を迎える。これを機会に富山県とベトナムの関係がますます発展することを祈念しているとの挨拶があった。
- 計画投資省ホアン外国投資長官から、①富山は非常に潜在力のある県であること、富山デスク設置について大臣に報告した際、大臣から富山県企業の誘致を含め、今後双方の経済交流をより促進するよう指示があったこと、②富山デスクの設置は新たなステージだと思っていること、③対話では地方省4省を紹介したが、他の地方省も紹介するので、関心があればぜひ問い合わせしてほしいなどの挨拶があった。
- 既にベトナムに進出している県内企業6社から、自社の紹介や進出の経緯、ベトナムでの事業の進め方、などを簡潔に紹介があった。また、団員である(有)山文の松村社長より、現地企業と独自のMOUを締結したことが報告された。
- 最後に、渡辺議長から、ご自身とベトナムの関係が15年ほどになること、当時からベトナムの評価が高かったこと、今後ますます日本、富山県とベトナムがウィンウィンの関係になることを祈念するとの閉会挨拶があり、盛会に交流会を終えた。



情報交換の様子



ベトナム政府関係者と新田知事

12月20日(火)

(1) 現地進出企業の視察(YKKベトナム社)

ア 日時 2022年12月20日(火) 9:30~11:00
イ 場所 YKKベトナムハナム工場(ドンバンⅢ団地)
ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長等)28名
エ 相手方 YKKベトナム社 敷田 透 社長ほか
オ 内容 (1)挨拶(新田知事、敷田社長)
(2)会社概要説明
(3)工場見学、質疑応答

○敷田社長から歓迎の挨拶があった後、長野ファクトリーマネージャーから、ベトナムへの進出の経緯、ドンバンⅢ団地の選定理由を含む会社概要について、説明があった。

○その後、2班に分かれ、工場(5.1万㎡、従業員数約700人)の見学を行った。金属や樹脂射出ファスナーなどの製品概要や製造工程、スライダーやテープなどの工程、ほぼすべて黒部工場で製造されている工作機械などの案内があった。また、工場の進出にあたっては、縫製工場の近くであることが決め手のひとつであったことも紹介された。今後は、ファスナーの市場拡大が続いていることから、隣地に工場増設を計画していることが紹介された。

○質疑応答では、ベトナムでは離職率が高いと聞いているが人材確保等にどのように対応しているのかとの質問があり、給与は低い業績に応じた賞与を含む年収は比較的よいこと、福利厚生を充実させていること、離職率が高いことを前提として、自動化を進めるとともに、初心者でも対応できる作業環境づくりを行っているとの回答があった。



(2) 現地進出企業(麺屋いろは)の視察・昼食会

ア 日時 2022年12月20日(火) 12:00~13:00
イ 場所 麺家いろは ハノイ店
ウ 富山県側 経済訪問団 28名
エ 相手方 (株)天高く 代表取締役会長兼社長 栗原 清(訪問団員)

○今回の訪問団員でもある(株)天高きの栗原会長の解説により、ハノイで営業されている麺家いろはで、ベトナム向けにアレンジされたラーメンを試食するとともに、ベトナム進出時の留意点等について説明を受けた。ハノイの店舗は、今年で5年の契約期間が終了するため、再出店に向け努力したいとのことであった。

○全て現地の素材を用いた富山ブラックラーメンは、ベトナム風にアレンジされているが、日本人の味覚にも適していると団員に好評であった。



(3) ベトナム現地商業施設等視察

ア 日時 2022年12月20日(火) 9:00~14:30

イ 場所 ハノイ市内商業施設

ウ 参加者 経済訪問団(食品関係者等) 5名

エ 視察先 スーパー富分、FujiMart、AEON Mall、Big C

○それぞれの施設において、どのような日本の商品や現地商品が流通しているか、日本の商品はどのくらいの価格帯で販売されているかなどを日本での販売価格と比較しながら確認した。

○施設によって、現地ベトナム人向け、在越日本人向け等ターゲットが異なるため、日本からの輸入品や現地生産商品等陳列商品のラインナップに違いがあった。一方で、日系スーパー(スーパー富分、FujiMart)、地元スーパー(Big C(資本はタイ))の双方で共通している人気商品があること、スーパーと大型商業視察(AEON Mall)では、同じ日本の商品でも価格帯に違いがあることなどを参加者で確認し、意見交換を行いながら、視察をおこなった。



(4) 富山県企業とベトナム企業のネットワーキング及び商談会

ア 日時 2022年12月20日(火) 15:00~17:30

イ 場所 ホテルデュパルクハノイ ジョーナA

ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長ほか) 33名
現地進出企業 3社

エ 相手方 ベトナム企業 23社

オ 内容 (1) 挨拶(新田知事)

(2) 挨拶(清水JICAベトナム事務所長)

(3) 富山県紹介(鎌田県新世紀産業機構アジア経済交流センター長)

(4) ネットワーキング(進行管理等 村上ジェトロ富山所長)

○ネットワーキング及び商談会は、ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)のアレンジで、23社の現地ローカル企業、日系企業の方々に参加いただき、個々の団員企業との間で互いの取組みや商品紹介のほか、57件の商談が行われた。

○参加者からは、「ベトナム国内での物流網に目途がたった」「今後、工場見学を通して関係を深め、商談に結びつけたい」「我々日本の中小企業と積極的にビジネスを希望するベトナム企業と面談できてよかった」などのコメントがあった。



富山県の紹介



ネットワーキング



商談会の様子

12月21日(水)

(1) 富山県ホーチミンビジネスサポートデスク(県から北陸銀行に委託)

オープニングセレモニー及びサポートデスク視察

- ア 日時 2022年12月21日(水) 15:30~15:50
イ 場所 ホテルニッコーサイゴン4階 ミーティングルーム2
ウ 富山県側 経済訪問団39名(富山タイ協会メンバー7人が合流)
北銀側 特別顧問 麦野 英順
国際部長 清水 善門
ホーチミン事務所長 山田 太一
- エ 内容 (1) 挨拶(新田知事、麦野特別顧問)
(2) ブリーフィング(山田所長)
(3) 現地視察(知事、議長、麦野顧問、清水部長、山田所長等11名)

○新田知事の挨拶の後、麦野特別顧問から、サポートデスク設置に至った経緯の説明があった。その後、山田所長からベトナムの経済情勢、ビジネスサポートデスクの利用等についてのブリーフィングがあり、その後、関係者による現地視察を行った。

(上)オープニングセレモニー (下)現地視察



(2) ベトナム進出県内企業等との情報交換会

- ア 日時 2022年12月21日(水) 18:30~20:30
イ 場所 ホテルニッコーサイゴン4階 ミーティングルーム7
ウ 富山県側 経済訪問団 39名
エ 相手方 渡邊 信裕 在ホーチミン日本国総領事
森本恵美子 領事
松本 暢之 ジェトロホーチミン事務所所長
ベトナム富山県人会 12名
ベトナム進出県内企業 6社
- オ 内容 (1) 挨拶(新田知事、渡邊総領事)
(2) 挨拶及び乾杯(敷田 YKK ベトナム社社長)
(3) 情報交換(各進出県内企業から挨拶)
(4) 閉会挨拶(渡辺議長)

○新田知事から、①今回の訪問では、さらなる発展に向けて19日にベトナム計画投資省との間で経済交流を強化する新たなMOUを締結したこと、②富山県ホーチミンビジネスサポートデスクの開設を機に富山・ベトナム間の経済交流がより一層促進されることを期待していること、などについて挨拶があった。

○在ホーチミン日本国総領事館の渡邊総領事から、今回のサポートデスク開設を通じた経済交流のさらなる活性化が、来年の日越外交樹立50周年を盛り上げるものとなると期待しているとの挨拶があり、その後、ベトナム進出企業を代表し、YKKベトナム社の敷田社長から乾杯の挨拶があった。

- 情報交換会では、ベトナムに進出している県内企業5社並びにベトナム富山県人会からの挨拶のなかで、富山県人会から、新田知事に県人会顧問に就任していただくことになった旨の報告があり、その場で就任式を行った。
- 最後に渡辺議長から富山ベトナム間の交流がより深まることへの期待などについて挨拶があり、盛会に情報交換会を終えた。



12月22日(木)

(1) 現地進出企業の視察(ファインネクスベトナム社)

- ア 日時 2022年12月22日(木) 9:00~10:30
- イ 場所 ファインネクスベトナム社
- ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長ほか) 31名
- エ 相手方 ファインネクスベトナム社 石田 慎一 社長ほか4名
- オ 内容 (1) 歓迎挨拶(石田社長)
(2) 挨拶(新田知事)
(3) 会社概要説明
(4) 工場見学、質疑応答

○石田社長から、今回の訪問が現地メディアでもとりあげられており、スタッフも歓迎しているなどの挨拶があった後、ベトナムへの進出の経緯、人材確保や人材育成、日本本社との連携など会社概要について説明があった。

○その後、日本本社での勤務経験のあるベトナム人スタッフ(第1期の技能実習生)を含む3名から、自己紹介、富山での経験、仕事内容等についての紹介があった。

○次に4班に分かれ、工場見学を行った。精密機械部品や車載電子部品などの製造工程、品質管理、日本本社勤務経験者を中心にベトナム人スタッフが自らのレベルアップに取り組んでいること等について、説明を受けた。

○質疑応答では、人材確保やベトナムでは離職率が高いと聞いているが、どのように対応しているのかという質問があり、石田社長から従業員とのコミュニケーションを大切にしていること、仕事に対する評価やモチベーションを高める声かけを行っていること等の紹介があった。

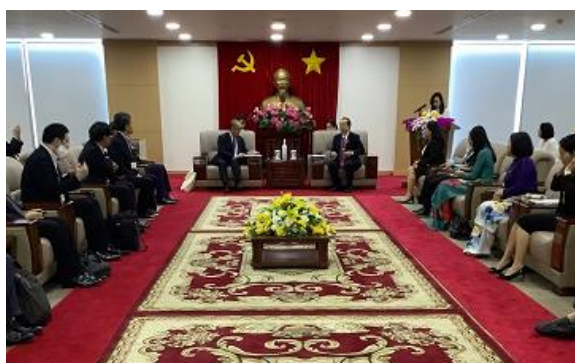


※富山タイ協会は、この後別行程となった。

(2) ビンズオン省表敬訪問及びビンズオン新都市視察

ア 日 時 2022年12月22日(木) 11:00~13:30
イ 場 所 ビンズオン省庁舎 応接室
ウ 富山県側 経済訪問団(新田知事、渡辺議長等) 21名
エ 相手方 人民委員会グエン・ヴァン・ヤン副委員長 他同省幹部
人民議会グエン・チュン・ニャット・フン副議長
オ 内 容 (1) ビンズオン省人民委員会表敬訪問
(2) ビンズオン新都市の案内

- 視察先であるファインネクス他県内企業が多く進出しているビンズオン省を表敬訪問した。冒頭、ヤン副委員長から、①ビンズオン省が国内でも特に経済発展が著しいこと、②外国から高度な人材に来てもらうため、医療機関、大学等教育機関、新都市としての街づくりを行っており、世界でも評価されていることが紹介された。
- 続いて、フン副議長から、富山県は東京からも近く、海と山があり、さまざまな産業が発展している県と聞いている、それぞれの強みを活かし、両者の発展のために取り組みたいとの発言があった。
- 新田知事から、同省に県内企業5社6事業所が進出していること、ベトナムは政治的に安定しており、1億人近い人口がさらに増加していることからマーケットとしても魅力的であること、昨年富山県が開催した国際総合見本市「T-messe2021」でビンズオン省ベカメックス IDC 社に出展いただいたこと、経済交流が一層促進されるよう計画投資省と強化版MOUを締結したことなどが紹介され、ビンズオン省とも経済交流が促進されるよう支援と協力をお願いしたいとの発言があった。
- その後、新都市開発を担うベカメックス IDC 社植松副部長、その通信インフラ整備を担うNTT イーアジア長江副社長の案内で、大規模な開発が進むビンズオン新都市を視察した。



ビンズオン省 表敬訪問



新都市視察

(3) ベトナム現地商業施設等視察

ア 日 時 2022年12月22日(木) 9:00~15:30
イ 場 所 ジェトロホーチミン事務所、ホーチミン市内商業施設
ウ 参加者 経済訪問団(食品関係者等) 6名
エ 相手方 ジェトロホーチミン事務所 荒島 由也 海外コーディネーター
オ 視察先 Co.opmart、AKURUHI Supermarket、
Annam Gourmet Market(ホーチミン高島屋内店舗)、ベントアン市場

○はじめに地元スーパーである Co. opmart で視察を行い、ハノイでの視察先と比較しながら、日本の商品や現地商品のラインナップ、流通状況や価格帯を確認した。

○ジェトロホーチミン事務所では、荒島コーディネーターからベトナムの食品市場とトレンドについてブリーフィングを受けた。また、小売や外食市場での日本産食品の流通可能性等について意見交換を行った。団員からの①ベトナム人が外食する際に重視することは何か、②商品ごとに価格設定に違いがあるかなどの質問に対し、①ベトナム人は家族での外食を好むこと、②日本製高品質のプレミアム価格では売れず、小分けにするなど価格を抑える工夫が必要であること、ベトナムのニーズにあわせた販促活動や商品づくり、生産体制が必要であるとの回答があった。



○その後、日系スーパーの AKURUHI Super Market や高級嗜好のスーパーである Annam Gourmet Market、伝統的な市場であるベンタイン市場を順に視察し、どのような商品が流通しているか、どのくらいの価格帯で販売されているかなどハノイの視察先と同様に日本との違い、ハノイとの違いを確認しながら視察を行った。伝統的な市場のベンタイン市場では、国営店とそうでない店舗があること、市場では値段交渉を行うことが基本だが、国営店では定価で販売されており交渉の必要がないなどベトナム独自の商慣習について理解を深めた。



(上) ジェトロホーチミンでのブリーフィング

(下) 市場視察

(4) 富山就職プログラム（アジア高度人材受入事業）4期生激励会

ア 日 時 2022年12月22日（木） 16:00～17:30

イ 場 所 ホテルニッコーサイゴン4階 ミーティングルーム7

ウ 富山県側 経済訪問団（新田知事、渡辺議長ほか）29名

エ 相手方

ホーチミン自然科学大学 学生支援センターグエン・バン・チン センター長
学生支援センター グエン・ティ・タム・トゥイ・ハン 副センター長
富山就職プログラム ホ・ティ・ロアン 日本語講師

今後富山県内企業で勤務する就職プログラム 4期生 4名

グエン・ティ・トゥ・フエン（ホーチン工科大学）採用企業：吉沢工業(株)

ダム・ティ・フエン（ハノイ工科大学）採用企業： 同上

レ・ヴァン・ホアン（ハノイ科学大学）採用企業： 同上

ダン・トゥアン・アイン 採用企業：(株)ナカゼ

(FPT polytechnic (ポリテクニク) 短期大学)

ベトナム人大学生（ホーチミン工科大学等）（7名）

- オ 内 容
- (1) 挨拶(新田知事)
 - (2) アジア高度人材受入事業の概要説明(大西雇用推進班長)
 - (3) 挨拶(ホーチミン自然科学大学 チン センター長)
 - (4) 4期生あいさつ・自己紹介等
 - (5) 富山県内で勤務するアジア高度人材先輩社員のインタビュー
(動画放映)
 - (6) 採用する富山県内企業からのメッセージ
 - (7) 4期生との懇談、代表挨拶、記念撮影等

○新田知事の挨拶の後、ホーチミン自然科学大学 学生支援センター チンセンター長より、今後もアジア高度人材受入事業を通じてベトナム高度人材が富山県の企業で働くことができれば良いと歓迎の挨拶があった。

○次に、これまでベトナムで日本語等を学び、富山県内企業での採用が決定している就職プログラム4期生4名から、自己紹介や採用企業に対するお礼、富山で働くことの意気込みが述べられた。

○各テーブルで富山就職プログラム4期生や現地大学生との歓談が行われた。訪問団メンバーからは、4期生の日本語での立派な挨拶に感心するとともに、自社での採用を検討したいとする声や、当日参加した他の現地大学生からも、富山就職プログラムに参加したいとの声が聞かれた。

○最後に富山就職プログラム4期生代表のフェンさんより、「ますます富山で働くことが楽しみになった。微力ながら富山県の一員として頑張りたい。」と激励会開催に対してお礼の言葉があった。



4期生挨拶



歓談の様子